



みす和夫通信

平成30年8月号 Vol.34

平成30年6月
第2回定例会にて



発行 千葉市議会議員 みす和夫事務所
千葉市緑区誉田町2-21-1189 ☎291-1086

ホームページもご覧下さい。 [みす和夫](#) 検索 メール misu@misukazuo.jp

皆様、こんにちは。今年の夏は記録的な猛暑となりましたが、いかがお過ごしでしょうか?

気象庁も、命に危険な暑さだと連日呼びかけたため、熱中症ではないかという119番通報が急増し、救急車がフル出動で消防署も大忙しだと聞いております。皆様も熱中症にならないようにこまめに水分補給して、できるだけ、涼しい日陰や家の中にいるようにしてください。

自民党千葉市議団は7月31日、市長に小中学校の全教室にクーラーを早急に設置するよう要望しました。今まで何度となく要望してまいりましたが、未だに全教室にはついていません。

市長からは、「状況は熟知しているので、来年度から3か年計画で千葉市内の小、中学校、全教室にクーラーを設置していきたい」との回答頂きました。

三須和夫も38回目の一般質問を行いました。千葉市、緑区の市民の皆様が困っている問題を解決し、住みよい環境にするため更に頑張る所存です。今後とも宜しくお願い致します。



01 千葉市の農業について



全国的に「農業者の高齢化」や「後継者が他の産業に就業してしまうこと」による担い手の減少が長期にわたり続いており、本市においてもその確保が大きな課題となっております。

こうした中、市では新規就農希望者研修を実施するなどの対策を講じていますが、新規就農者だけでなく、農業後継者に向けた支援を充実させることで、後継者が魅力を感じ、稼ぐ意欲を持って就農できるようにしていく必要があると考えます。

また、後継者不足により、地域の農地が有効活用されなくなる恐れがありますが、地域と市が一緒になって、この問題と向き合い、解決を図ることが重要と考えます。

◎農業後継者への支援の現状と今後について

〈答弁〉経済農政局農政部農業経営支援課

これまで、経営規模を拡大する際の機械設備の導入費用を補助するとともに、農業経営に必要な資金の融資を受けた際の利子補給を行うなど、支援して参りました。

加えて、他の産業に従事し定年を迎えた農家の後継ぎに向けては、「定年帰農者研修」というメニューを用意し、円滑な帰農を促して参りました。

今後は、収益性の高い作物栽培への農地の集約、規模拡大や機械設備の導入に対する支援に加え、ICTの活用や、アシストスーツなど先端技術の導入に対する支援も実施し、農業後継者の就農意欲を喚起して「稼ぐ農業を目指す担い手」の確保につなげて参ります。

◎後継者不足となっている地域の農地をどのように有効活用するのかについて

〈答弁〉経済農政局農政部農地活用推進課

本市では、経営規模の拡大や効率化・高度化などを進めていくことのできる担い手を、地域の農業の中心となる経営体と位置付け、「人・農地プラン」の策定を推進しております。

具体的には、後継者不足の問題を抱える地域における話し合いの場を持つことを働きかけるとともに、「後継者のいない農地所有者」と「担い手」との間の、農地の有効活用を目的とした取り組みを行っております。

さらに、各地域を担当する農地利用最適化推進委員が、農地の集積・集約を行う場合の利点を紹介するほか、手続きにあたって支障となる問題点を直接解決を図る活動などを通して、農地の有効活用を一層推進して参ります。

強く要望いたしました



農業後継者に向けて、様々な支援を実施し、担い手の確保に繋げていくとのことですが、農業だけで暮らしていくことが厳しく、どれだけの方が農業を続けられるのか懸念しているところです。

農業が縮小してしまい、先の子供達の食料大丈夫かなと心配しています。そうならないためには、農業でしっかりと稼ぐことができれば、おのずと子どもも跡を継ぐと思われれます。

幸い本市は、気候も温暖で、収益性の高い都市農業を営むことができる条件が整っています。こうした環境を活かせるよう引き続き支援していくことを強く要望いたします。

また、農家の皆様にとっては、自分の子どもに立派な跡継ぎになってもらい、農地を引き継ぐのが一番の願いではないかと思っておりますが、なかなか難しいのが現実です。

しかし、後継ぎのいない方も、意欲的な担い手にその農地を託して、耕作を続けてもらうことで、大切な農地を守ることができると私は思います。

このような担い手と、後継者がいない農家を結びつけることで、地域の農業の活性化につながるよう、地元の皆様との話し合いを、しっかりと進めていただくことを、あわせて要望いたします。



千葉市たばこ対策について

千葉市においても受動喫煙対策について多く議論されています。

- ①2020年オリンピック・パラリンピックを2年後に控え、東京都の取り組みを参考に受動喫煙防止対策をどのように推進していくか。
- ②「健やか未来都市ちばプラン」の喫煙に対する3年間の取り組みを評価して対策を実施する。
- ③千葉市環境局で推進している屋外の喫煙場所の設置事業と喫煙者の健康を考えた千葉市のたばこ対策の方向性を明確にする。
- ④加熱式たばこ等の新型たばこと燃焼式たばこを区別したたばこ対策について。etc... 様々な事が議論されています。



02 千葉市のイノシシ問題について



先の第1回定例会に於いて、初めてイノシシ被害の問題を取り上げました。これは緑区の方達から農作物や田畑をイノシシに荒らされて困っているのが、有害鳥獣の対策を強化してほしいという切実な声が寄せられたからでした。また、緑区は山林や田園のすぐ近くに住宅団地が形成されており、市民や子ども達が被害にあうことも遠い将来のことではないと危惧されます。

今年度イノシシの住みかとなっている耕作放棄地等の刈払い作業に473万6千円の補正予算がつけました。更なる対策を検討していただくことを願ひまして再度、質問させていただきます。



◎市内での捕獲数と鳥獣保護との関係について

〈答弁〉環境局環境保全部環境保全課、経済農政局農政部農業生産振興課

イノシシの捕獲数は、「平成27年度に4頭、28年度に10頭、29年度には12頭捕獲し」、年々増加しております。平成26年5月に改正された鳥獣保護管理法では、野生鳥獣の生息数を適正な水準に減少させること、その生息地を適正な範囲に縮小させることが法の目的に位置付けられております。イノシシにつきましては、市民に対し農作物の残渣の速やかな片付けなど注意喚起を行うとともに、目撃情報に基づく効果的なわなの設置と捕獲に努め、被害防止を図って参ります。

◎被害防止策について

〈答弁〉経済農政局農政部農業生産振興課、環境局環境保全部環境保全課

住宅地では、情報提供や注意喚起を行ない、捕獲に努めています。また、農地周辺では、「捕獲」だけでなく、「電気柵」を設置し「侵入防止」を図るとともに、新たに耕作放棄地等の刈払いによる「鳥獣の住みにくい環境管理」に取り組み、農業被害の防止に努めてまいります。

◎地域を巻き込んだ今後の取り組みについて

〈答弁〉経済農政局農政部農業生産振興課、環境局環境保全部環境保全課

イノシシの生息場所、食性、性格、習性、日常の注意事項、遭遇又は目撃した場合の通報先等を記載した啓発物を、関係機関等の窓口に配備するほか、農業被害が生じている地域では、農作物を畑に放置しないようにするとともに、草地の刈払いを促すため、市ホームページ、広報誌などにより注意喚起・周知等に努めてまいります。加えて、耕作放棄地の再生活動については、相乗効果が期待できることから、連携・協力してまいります。

強く要望いたしました



まず第一に、イノシシによる農業被害がある地域等に対しては、自治会など普及啓発に努めてくださるようお願いいたします。

第二に、農作物を畑に放置しない、ごみは収集日の早朝から出すなどを徹底し、耕作地は決して放置しないことなど、地域が一丸となって取り組めるサポートをお願いいたします。

第三に、猟友会や関係部署と連携しながら、電気柵などを駆使した侵入防止対策の実施や、効果的にわなを設置し、イノシシが好まない環境づくりをお願いいたします。私はイノシシが街の中に入らないように市をあげて取り組んで貰いたいと思います。

03

緑区の諸問題について



(1) 誉田地区の住宅開発に伴う小学校、子どもルームの対応について

誉田駅の北側は、「誉田駅舎の橋上化」及び「南北自由通路の設置」とあわせ、北口駅前広場や道路などの公共施設が整備され、駅周辺の活性化が期待されています。また、計画戸数全900戸の「たかだの森ニュータウン」をはじめとする住宅開発が駅周辺において進められ、さらに人口増が見込まれております。

この地域は、誉田東小学校の学区となりますが、急激な児童数の増加に小学校や子どもルームが十分対応できるか、心配されるところであります。

◎誉田東小学校の過去3年間の入学者数と全校児童数について

〈答弁〉教育委員会学校教育課

誉田東小学校の入学者数は、平成28年度が81人、29年度が92人、30年度が100人です。また、5月1日現在の児童数は、平成28年が415人、29年が467人、30年が518人となっており、増加傾向にあります。

◎教室使用の状況及び教室が不足した場合の対策について

〈答弁〉教育委員会教育総務部企画課

誉田東小学校は、現在、使用可能な17室のうち16室を使用しており、教室不足が生じると予測しております。

対策としては、特別教室等を普通教室に転用、それでも不足するときは、校庭にプ

レハブ校舎を設置することとしております。なお、不足する教室数を算定するためには、学区内における住宅の供給状況や入居する世帯の構成等を分析し、計画的に対策を講じて参ります。

◎子どもルームの現在の利用状況と今後の予定について

〈答弁〉子ども未来局子ども未来部健全育成課

誉田東小学校では、現在、子どもルームと図書室を利用した高学年ルームであわせて105人の児童が利用しております。

利用児童数は、今後増加が見込まれるほか、高学年ルームで12人の3年生を受け入れていることから、平成32年4月開所を目指し、小学校のグラウンド内に新たな子どもルームを新設するため、今年度内に実施設計を行う予定となっております。

強く要望いたしました



同地区は、今後、小さい子どものいる世帯がますます増えると考えられます。先ほどの答弁でも、子どもたちが急増するとの見込みが示されたところであり、保育所や小学校、子どもルームがそれぞれ切れ目なく子どもたちを受け入れることができるように、将来を見据えて対応されるよう強く要望いたします。また、誉田東小学校の周辺は自動車の交通量の多い地域ですので、通学路の整備や交通安全対策についても、万全を期していただくようお願いいたします。



(2) 中西町の金属スクラップ堆積場に対する法的規制について

中西町にある金属スクラップ類堆積場の問題については、全庁を挙げてこの問題に取り組んでほしいとお願いしてきたところであります。これを受けて当局は、騒音・振動・粉塵対策連絡会議の設置やパトロールを強化するなど、そ一定程度の評価をするものではありません。



しかしながら、こちらの写真をご覧ください。金属スクラップが山高く積まれており、とても圧迫感があることがお分かりいただけるかと思ひます。中西台の方々はこのような環境にもう8年近くさらされていることをみなさん認識していただければと思ひます。

◎中西町金属スクラップ堆積場の騒音振動に対する指導について

〈答弁〉環境局環境保全部環境規制課

著しい騒音・振動が発生する原因となっている船積みに伴う搬出作業時の騒音・振動測定を、昨年8月以降3回実施しました。測定の結果、騒音については、千葉県環境保全条例に基づく規制基準を超過していたことから、改善を図るよう指導し、本年3月に事業者より改善計画書が提出されました。

主な改善内容は、

- 積み込み作業以外は小型の重機を使用することで騒音・振動の発生を軽減し、積み込み作業時においても大型の重機と2台同時稼働は行わない。
- 重機による作業は、住居より離れた場所で行う。

こととなっております。

なお、昨年12月を最後に、船積みによる搬出作業は実施されていない状況であり、事業者からは今後も予定していないと聞いております。

◎今後の対応について

〈答弁〉環境局環境保全部環境規制課、環境局資源循環部産業廃棄物指導課

週1回のパトロールを継続し、適切な指導に努めて参ります。今後も、引き続き、生活環境の改善に向けて全庁的に取り組んで参ります。

強く要望いたしました



中西台の住民は、もう長い間悩まされて続けてきており、体の具合が悪くなった方もおられると聞いております。緑豊かな環境の素晴らしさからここに住まれたというのに、現在の状況を見るとそのギャップはあまりにも大きく、大変気の毒で憤りを禁じえません。

市当局にはこれまで以上に厳しい目でチェックしていただきたいと思ひます。また、船積みに伴う搬出作業は現在行われていなく、今後も予定がないということですが、にも十分注意を払っていただきたいと思ひます。

当局におかれましては、法令等に基づく指導には限界があるかもしれませんが、この問題を十分に認識していただき、少しずつでも前進・改善するよう、全庁を挙げて取り組んでいただくことを強く要望いたします。



(3) 都市計画見直しについて

誉田駅の北側につきましては、総戸数が880戸を超える「たかだの森ニュータウン」において平成26年度から住宅建設が始まり、今後は駅に近い区画へ建設が進んでいく状況であります。

また、明治大学誉田農場跡地では、本年1月より「ネクストコア千葉誉田」として産業団地の整備を急ピッチで進めており、数年の内に、操業を始める企業も出てくると見込まれます。産業団地内の幹線道路は、産業団地には雇用の創出や、地域の活性化につなげていただくことを期待するところであります。

私はこれまで何度も用途地域の見直しについて一般質問で取り上げて参りましたが、誉田駅周辺の魅力を高め活性化を図る好機であり、早急に変更することが必要と考えるところであります。駅北口周辺に仕事帰りに疲れをいやす場所や家族連れで食事を楽しむ場所などが必要だと思ひます。そこで、誉田駅北側の用途地域について伺います。

◎誉田駅北側の用途地域について

〈答弁〉都市局都市部都市計画課

誉田駅の北側は、「たかだの森ニュータウン」における居住人口の増加や、造成中の

工業団地における従業人口の増加が見込まれるなか、駅前広場周辺や周辺道路の沿道において利便性の向上が図れるよう見直しの検討を進めているところであります。

今後につきましては、用途地域の見直しにより影響を受ける地域住民の方々に対し、本年中を目途に意見を聞く機会を設けるなど、検討を進めて参りたいと考えております。



強く要望いたしました



この地域の用途地域の大部分は低層住宅地の良好な環境を守るために定められる用途地域であります。都市計画線引き昭和45年です。その頃は畑道に家が少し経ち始めたと記憶しています。

地域の現状についても大半は、低層の閑静な住宅地であり、住み心地の良い環境でもあろうと思ひます。将来を見つめて、住環境の変化に対する配慮も必要と思ひますので、検討を早く進めていただきたいと思ひます。

(4) 緑区地区ホールの建設について

強く要望いたしました



地区ホールについては、緑区は用地取得の検討まで話が進んでいたが、計画は凍結されたままの状態です。

緑区の方々が発表会を行うにしても、地元の人になかなか発表を見に来てもらえない、予約がとりにくいと市民の声もござひます。

千葉市の文化が一層振興されるよう、どの地域の住民も利用しやすい文化施設の整備について、緑区に地区ホールを作るよう頼まれることが多くありますので、今後も引き続き検討をしていただくよう強く要望いたします。

みす和夫プロフィール

- 千葉市議会議員6期目
保健消防委員会 委員長、大都市制度・新庁舎整備調査特別委員会委員、社会福祉審議会委員、保健所運営協議会委員、自由民主党千葉市議会議員団(所属会派)、千葉市議会日中友好議員連盟会長
- これまでの主な役職
第67代千葉市議会議員、千葉市監査委員、千葉市農業委員、千葉市産業廃棄物減量等推進審議会会長(2期)、市議会教育未来委員長(2期)、経済教育委員会委員長
- 資格・仕事など
一級建築士、宅地建物取引士、建設会社役員、社会福祉法人評議員



傍聴に80名の皆様に参加されました。

